

川のまるごと再生プロジェクト 古川排水路ほか地区

川越市

～取組テーマ～

水・花・緑によるふれあいの場の創出



【川の再生】

埼玉県では県民誰もが川に愛着を持ち、ふるさとを実感できる「川の国埼玉」の実現を目指し、「清流の復活」と「安らぎとにぎわいの空間創出」に取り組んでいます。

川のまるごと再生プロジェクトとは

- 水辺拠点のスポット的な水辺の再生から、川をまるごと再生する取り組みへステップアップします。
- 市町村のまちづくりと連携して、にぎわい創出の効果をまち全体へ広げます。
- 川や地域の特性に応じた水辺空間の再生テーマを定めて取り組んでいます。
- 県民が取り組み成果を実感することで、県、市町村、県民が共助・協働による川の再生を推進します。

県内位置図



川の概要

- 延長
 - ・古川排水路 L=1740m
 - ・笹原排水路 L=540m
- 川の特徴
 - ・ 農業用排水路。下流に排水機場を備えています。
 - ・ 沿川には、川越運動公園、釣りスポットが位置し、市内外からの来訪者に親しまれています。



彩の国
埼玉県



● 古川排水路ほか地区の概要

背景

この地区の豊かな水辺環境、武蔵野の面影を残す雑木林は優れた自然環境を有していますが、十分に活用できていませんでした。

また、伊佐沼や川越運動公園等の拠点施設はあるものの、それらを有機的に結びつける遊歩道などの線の整備が求められていました。

目的

水・花・緑とのふれあいができる、人と環境にやさしい快適な基盤を備えた「まち」を目指し、遊歩道などを整備しました。

- 対象施設 古川排水路、笹原排水路
- 事業内容 親水護岸2.3km、遊歩道0.5km

■ 笹原排水路 親水デッキ



■ 古川排水路 親水護岸



全体会、部会の実施

全体会、川越市部会をそれぞれ組織し、維持管理や整備内容について、話し合いました。

全体会、部会の構成メンバーは、川越市、土地改良区、県、環境保護団体、漁業協同組合自治会などとなっています。



案内図



伊佐沼農産物直売所



蔵造りの街並み



川越運動公園広場

農村の散歩道
蔵造りの街並みに至る

伊佐沼農産物直売所

川越運動公園

笹原排水路

古川排水路

伊佐沼



伊佐沼の蓮

凡例

- 遊歩道整備箇所(県)
- 水路護岸整備課所(県)
- 看板整備箇所(市)

整備前後の写真

位置等	整備後	整備前
<p>■古川排水路</p> <p>・川越運動公園脇</p> <p>・草木がうっそうとしていましたが、水辺に親しめる環境になりました。</p>		
<p>■古川排水路</p> <p>・蔵根橋下流</p> <p>・人と環境にやさしい快適な護岸を整備しました。</p>		
<p>■笹原排水路</p> <p>・花畑脇のデッキ</p> <p>・水・花・緑とのふれあいができる施設を整備しました。</p>		

事業効果・成果

- ・従前は、管理の粗放化から、樹木がうっそうとしており、自然環境に親しめる環境ではありませんでした。
- ・樹木を伐採し、親水護岸、デッキ、遊歩道等を整備することで、水・花・緑とのふれあいができる場が創出できました。

■アンケート結果
(平成27年度)
「訪れやすい水路」と
感じる方が大幅に増加
しました。

(H24) 27%→(H28) 43%



地域イベント

- ・ 小江戸川越花火大会
個性的な花火が小江戸川越の
夜空を彩る。打ち上げ数 約1万発。
時期：8月後半



(出展 川越市観光協会)

- ・ 川越まつり
川越まつりの最大の特長は、江
戸「天下祭」を今に再現した山車
行事。絢爛豪華な山車が、蔵造り
の町並みを中心に、町中を曳行
(えいこう)される。

時期：10月中旬



(出展 川越市観光課HP)

● 役割分担

県の取組

- ・自然と一体となるような環境に配慮した水路整備
- ・水辺を生かした遊歩道の整備



■ 環境護岸(最下流部)

川越市の取組

- ・農村の散歩道として、伊佐沼地域と市街地を結ぶ遊歩道を整備



■ 市が設置した案内板

地元の取組

- ・水路、遊歩道の維持管理を伊佐沼周辺田園環境保全組合と荒川右岸用排水土地改良区で実施



■ 組合による姫岩垂草の植栽

● お問い合わせ先

- ・ 埼玉東松山農林振興センター 農村整備部
東松山市六軒町5-1 電話:0493-23-8583
- ・ 川越市役所 農政課 農地保全担当
川越市元町1丁目3番地1 電話:049-224-5939